



今日が楽しく

明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

滝沢市立一本木小学校

令和7年 6月12日

第5号 文責：亀丸

たのしかった動物公園

5月30日(金)に1・2年生が遠足を実施しました。今年度は2023年4月にリニューアルオープンした盛岡市動物公園ZOOMOに行きました。また新たな試みとして柳沢小学校の1・2年生4名の子ども達と一緒に行きました。合同で開催することで往復の移動は滝沢市のバスを利用することができました。

昨年度までは地元の馬っこパーク・いわてを見学していましたが、もっと多くの種類の動物達と触れ合うことをねらいに動物公園ZOOMOを見学しました。子ども達はゾウやキリン、ライオンなどの大型動物を見たり、子ヤギにじかに触れたりする等楽しく見学することができました。また、柳沢小学校の子ども達と一緒に弁当を食べたり動物と触れ合ったりすることを通して、互いの仲を深めることができました。同じ仲間でも6年間過ごす一本木の子ども達にとって他校の子ども達とともに活動することは、とても貴重な経験になりました。

柳沢小学校の子ども達との交流は、6月20日に実施される4年生の社会科見学や、5・6年生の水泳学習でも実施していく予定になっています。今後も2つの学校の子ども達の交流を深めて参ります。



りんご学習がはじまりました

同じく5月30日(金), 3年生が今年度1回目のりんご学習に出かけました。路線バスで盛岡農業高等学校に移動しました。

第1回目の学習は「摘花作業」を体験することです。最初に農業高校の生徒さんに説明していただき、生徒さんたちのお世話のもと、実際に「摘花作業」を体験しました。

初めての場所で初対面の生徒さんとの交流学習ということで、最初はがちがちに緊張していた3年生ですが、「摘花作業」を教えていただく中でだんだんに仲良くなり、最後には会話を楽しんだり手をつないだり、とずいぶん打ち解けたようでした。

りんごの木の枝には自分の名札が下げられています。これから秋の収穫まで定期的に農業高校を訪れ、自分だけの「マイりんご」を育てることになっています。



きれいになりました～プール清掃～

6月3日にプール清掃を実施しました。本校の豊間根主任用務員が大まかな汚れを落としておりましたが、自分達が使うプールを全校の子ども達の手できれいにしようということで、2学年ずつ3時間かけてプールを清掃しました。

黙々と作業するのは一本木の子も達のよさです。この日も時間いっぱい休むことなく作業する子ども達の姿を見ることができました。すっかりきれいになり、給水を終え現在は16日(月)のプール開きに向けてプールサイドの準備を終えたところです。今年度も安全に配慮するとともに、子ども達にしっかりと泳力と、身の安全を守る力が身に付くよう水泳学習を行っていきます。

そのために、滝沢市で派遣するインストラクターによる実技指導を通して高学年の泳力を高めるとともに、全学年で着衣泳を実施し、水難事故から身を守る方法を学ばせたいと思います。

なお、インストラクターによる水泳授業は、5・6年生が柳沢小学校の子ども達と合同で行います。



通路を掃除する2年生



床の仕上げ掃除をする6年生



更衣室を掃除する3年生

一本木小学校教育振興協議会

5月27日に一本木小学校教育振興協議会を開催いたしました。岩手県教育振興運動は子どもと家庭、学校、地域、行政の5者が連携・協働して地域の教育課題の解決に取り組む岩手県独自の教育運動です。本校では滝沢魅力学を推進するための地域学習でのご協力、子ども達の安全の見守り等でも地域の皆様のお力添えをいただいているところです。

一本木の子も達には、目標に向かってあきらめずに取り組み続ける粘り強さをもってほしいと考えます。また、メディア利用については心配な部分もあります。そのような課題の改善に向けて5者が一体となって取り組みたいと思います。協議会の皆様どうぞよろしくお願いたします。

なお、今年度本校教育振興協議会は11月30日に行われる「学びフェスタ」で発表することになります。発表に向けて委員の井上真澄様には、地域学習の記録を撮影していただいております。発表がより良いものになることと思います。ありがとうございます。

一本木小学校教育振興協議会の皆様			
役職	氏名	役職	氏名
会長	井上 勝巳様	副会長	玉城 篤子様
委員	吉田 操 様	委員	岩井 雅之様
委員	三國 衣利香様	委員	三浦 信之様
委員	山本 佳代様	委員	角掛 利樹様
委員	伊藤 紀子様	委員	井上 真澄様
監事	小田島 麗様	監事	千葉 文子様
委員	黒澤 みほ子様		
	亀丸 泰彦	事務局	榊 綾子



今日が楽しく

明日が待ち遠しくなる学校

- かんがえる子 (知)
- おもいやりのある子 (徳)
- たくましい子 (体)

滝沢市立一本木小学校

令和7年 6月19日

第6号 文責：亀丸

がんばったロードレース大会

6月5日に校内ロードレース大会が行われました。暑くもなく寒くもなくさわやかな天候のもと実施することができました。本番までの間子ども達は、業間時間や昼休み等を利用してマラソンに取り組みました。「今年は〇位になりたい」といった目標をもって練習する姿が見られました。

当日、見学する児童は数名いましたが、参加した児童は最後まであきらめることなく走り続けることができました。これからの社会を強くたくましく生き抜いていくためには、困難に直面しても最後まであきらめずにやり遂げる力を身につけることが不可欠だと言われています。あきらめずにやり遂げる経験を学校でも積み重ねていきたいと思えます。走り終えた子ども達はとてもいい表情をしていました。中には順位に納得できず悔しがるともいました。結果に納得できずに悔しがることはとても大切なことです。その悔しさをばねにさらに努力を重ね、次回頑張ってほしいと思えます。

ロードレース大会の実施にあたり一本木駐在所の山田所長、交通指導員の皆様には、コースに立っていた安全確保と見守りをいただきました。今年度も事故なくロードレース大会を実施することができました。ご協力に感謝いたします。

また、たくさんの保護者の皆様にご来校いただきました。皆様のあたたかいご声援のおかげで子ども達は最後まであきらめずに走ることができました。ありがとうございました。



思い出深いグリーンキャンプ

6月12日(木)・13日(金)に5年生がグリーンキャンプに出かけました。国立岩手山青少年交流の家に宿泊しました。2日間天気にも恵まれ、雨の心配をすることなく、予定していた活動をすべて実施することができました。

1日目、8時30分に学校を出発しました。今年度は児童数が多いので貸し切りバスで移動しました。20分程度の移動時間でしたが、バスレクをして過ごしたそうです。

最初の活動は鞍掛山登山です。相の沢キャンプ場から標高897mの山頂を目指します。今年度も民生児童委員の角掛祐美様に先導していただきました。途中何度か休憩を挟み、みんな無事に山頂に立つことができました。大きく遅れる子もなく、みんなまとまって山頂に立つことができました。岩手山山頂付近に雲がかかっていて少し残念でしたが、一本木を含むすそ野の景色や、姫神山等周りの山々の景色を楽しむことができました。

20分ほど早く下山し、相の沢キャンプ場でゆっくりと昼食をとりました。下山は1度も休憩することなく歩き通しました。気温が高かったせいもあり、水筒やペットボトルの飲料がどんどん減っていきました。



少し早めに入所し、荷物整理とベッドメイキングを済ませた後、最初の活動「石像ウォークラリー」を行いました。石像のごく一部を拡大した写真をヒントに、所内にある13の石像をまわりながらクイズの文章を完成させるものです。1時間かけてゆっくり石像の題名を確認しながら巡ればよいのですが、そこは子ども達、いかに早く13の石像をコンプリートするかに躍起になっているグループが多かったです。



夕食はバイキング形式でした。副菜が4品でサラダもしっかりあり、とてもボリュームミーな夕食でした。何とカレーをかけてもOKでした。主食のサケフライ以外はおかわりできるので、ご飯も含め何度もおかわりしている子もいました。次の日の朝食はご飯とパンが用意されていました。ご飯とパンの両方を食べる子もいました。

1日目最後の活動は、キャンプファイヤーでした。夕食の前に内村教諭の指導のもと、キャンプファイヤーの井桁型を組みました。上下でずらして組んでいくなどとても上手にできました。

少しずつ辺りも暗くなってきたところでいよいよ本番。火の神様から「協力の火・全力の火・思考の火」の3つの火を授かった代表の子が、その火を井桁に点火しました。火の神様からは、「火は人間だけがその使い方を授かった大切なもので、人間の命と生活にとっても重要なものであること、その一方で使い方を誤ると人の命を奪い、自然や国を破壊に導く恐ろしいものにもなること、これからも正しくそして大切に火を使うこと」が話されました。赤々と燃える炎を囲みながら班の出し物やフォークダンスを楽しみました。班の出し物は劇でした。役になり切っておもしろおかしく演じる子ども達でした。榎副校長、伊藤教諭、笹谷教諭、西野教諭も交流の家に駆け付けてくれました。フォークダンスと一緒に踊るなど、キャンプファイヤーを盛り上げました。



2日目もとてもいい天気でした。2日目の活動は野外炊事です。もちろんメニューはカレーライスです。指導員の方の説明を聞き、いよいよ調理開始です。調理担当の子ども達は、具材の皮をむいたり切ったりするのがとても上手にできていました。きっと家でもたくさんお手伝いをしているのではないのでしょうか？何よりも大きさがそろそろ切っているところがよかったです。お米を研ぐ子ども達は時計を見ながら給水時間を確認していました。水加減もばっちりでした。かまどの火を管理する子ども達は、全員1回で火をつけることに成功しました。途中で火が消えてしまうかまどもほとんどなく、順調に調理をすることができました。薪をくべるタイミングがとても上手でした。

でき上がったカレーは濃さやとろみもちょうどよく、ご飯はおかゆになることもなく、どの班も完璧なカレーライスができました。4つの班の試食をさせてもらいましたが、甲乙つけがたいできでした。お腹がいっぱいになるまでおかわりをしました。中には他の班のカレーを試食する子もいました。もちろんすべての班が完食でした。片付けも手際よくできたので、少し時間の余裕ができました。短時間でしたが草むらで遊んだり、南部曲り家の中で涼んだりしました。思い出深い2日間を過ごすことができました。

